

# 課題名： DCTスキームを用いた認知症研究体制構築の研究

代表機関/代表者：東京都健康長寿医療センター/岩田 淳  
研究期間：令和6年度～令和10年度

## 研究開発目的

認知症研究体制の構築方法として分散型臨床試験(DCT)の概念を取り入れます。  
専門医療機関だけでなく様々な機関からデータを収集可能とし、認知症医療のリアルワールド・データの取得、副作用情報の取得を行います。

## 取り組み

- ・DCT技術を活用した症例登録・認知機能検査の導入支援
- ・PET・MRI画像の撮像、品質管理、読影、解析法の標準化
- ・DCTを活用した液性バイオマーカー（血漿、ゲノムDNAなど）の全国的な収集・評価システムの構築。
- ・DCTにより収集した臨床データを格納するEDCシステムの構築

## 成果

- ・MRI画像収集システムを用いたARIA中央解析の開始
- ・スマートフォンアプリを用いたAPOE結果開示システムの運用開始および血液バイオマーカー測定の前標準化の進展
- ・連携班レジストリ向けEDC本番システムの完成および稼働開始

## 今後の展開

DCTスキームにより、被験者の通院負担を軽減し研究参加のハードルを下げることで、全国規模でのリアルワールド・データの蓄積が可能になります。  
各検査技術（PET、MRI、バイオマーカー）の標準化・品質管理が進むことで、より安全な治験や実臨床の体制が確立され、我が国の認知症医療全体のレベル向上に貢献します。

## DCT スキームを用いた認知症研究体制構築図

